

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	地域力発揮による二地域居住促進モデル構築事業
対象地域	山梨県 南都留郡 富士河口湖町 居村(いむら)地域
活動概要	<p>本事業は、富士河口湖町において急速に過疎化が進む「精進湖 居村地域」において、地域における協議会組織によるビジネス性を持つ二地域居住促進モデルの構築を目指すことをテーマとするものである。</p> <p>山梨県の富士河口湖町西部に位置する精進湖は、富士北麓地域のなかでも集落の歴史が古く年間50万人以上の観光客が訪れる(精進湖、本栖湖、西湖の合計)。しかし近年若年層を中心に人口の流出(精進湖地域の人口は平成17年時点で304人、10年間で15%減少)が続き、特に本事業が対象とする居村地域では、40件の住居のうち、20件以上が空き家となっている。このため2007年4月に地元住民、商工業者が中心となり「精進湖活性化協議会」(以下「協議会」と略す。)を発足させ、居村地域の活性化対策に取り組み始めたが抜本的な解決には至っていない。</p> <p>そこで本事業においては、まとまった空き家を地域資源として活用し、人の交流で地域の活性化を図る方策として、本地域における二地域居住や移住希望者に向けて、居村地域ならではのコンセプト設定、プログラムの提供等の様々なソフトインフラの整備を図るものである。</p> <p>なお、今後、本協議会の連携主体の拡大とソフトインフラの拡充を図り、富士河口湖町全域で二地域居住や移住の促進につなげていく考えである。</p>
今年度の主な取組	<p>本年度事業においては、協議会を中心に以下の4事業を集中的に行う。</p> <p>【第一段階:協議会の整備 (2008年8月～10月)】現在の協議会組織メンバーに加えて広く近隣地域の商工業者を巻き込み、ビジネス性を持つ民間主体の協議会とするとともに、併せて、県、シンクタンク、旅行エージェント等の参加をいただき、実行力ある協議会として整備する。</p> <p>【第二段階:ソフトインフラの整備 (2008年10月～2009年1月)】協議会、及び専門家を交えて議論を行い、空き家の集中する地域である精進湖「居村」ならではのコンセプトを設定する。特に他地域先進事例調査、及び精進湖居村地域における資源発掘を行うことによって他地域との差別化を行う事ができる独自固有の方向性を策定し、来年度からの計画にまで落とし込む。</p> <p>【第三段階:プロモニター会の実施・検証 (2008年10月)】上記第二段階の議論を活発にするために、精進湖居村地域における、移住・二地域居住に関係する専門家による視察・体験を実施し、活性化への意見集約を行う。想定する専門家は、銀行、建築業者、観光業者などの「二地域居住ビジネスモデル」構築に関係するメンバーを選定する。</p> <p>【第四段階:クラブ組織の立ち上げ(2008年11月～2009年3月)】平成21年度夏から予定する居住希望者向けのモニター会に向けて、現在富士河口湖で把握している空き家希望者などの二地域居住や移住希望者を会員組織化する。会員組織においては、メルマガ等によるより濃度の高い定期的な情報発信を試み、囲い込みを行う。</p> <p>また年度末には、以上の活動により蓄積されたノウハウを体系化し、次年度以降の富士河口湖町全域での活動に活用する。</p>

活動結果	<p>①空き家利活用の形態としては、空き家を特定の個人間の契約で賃貸する方式ではなく会員制の利用を採用した。具体的には、協議会を運営組織とし、空き家1件つき50名の会員を募り、会員が好きな時に好きな空き家を利用できる方式を採用した。</p> <p>②空き家を含めた居村地域一体のコンセプトの設定においては、同地域が最も輝いた大正末期から昭和一桁の時代のキーワード「THE SHOUJI」が採用された。</p> <p>③協議会メンバーを食、自然、歴史・文化の3部会に分け、コンセプト設定のための資源探索を行い、資源を活かしたプログラム等のコンテンツ開発を進めた。この結果、各部会からは訪問者に対して提供可能なコンテンツの素案が提出されている。</p> <p>④今後の会員制の導入に備えての基盤整備においては、会員となる候補者の抽出及び候補者に対する情報発信がテスト的に行われた。具体的には、山梨県・富士河口湖町役場との連携の下で町内への二地域居住を希望する人々をリスト化し、定期的なメールマガジン等の情報発信を行っている。</p>
当初予想していなかった効果	<p>事業初期段階において多様な意見の抽出を図る事を目的として、男女、職業、年齢において多用な主体を組み入れ協議会の再編を行った。この結果、協議会の進行が進むにつれて徐々に若い世代(30~40代)が議論の中心になる頻度が多くなった。現在では、同世代が中心となる部会がプログラム化などにおいて目立った成果を挙げており、他の部会への支援も行うようになっており、今後も地域リーダーとしての役割が期待できると考えられる。</p>
実施状況(写真)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>○協議会の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>○プロモーター会の様子</p> </div> </div>
応募団体名	精進湖活性化協議会
リンク	kikaku@town.fujikawaguchiko.lg.jp (本協議会ホームページ立ち上げまで)
部局/担当者名	渡辺 勝保
連絡先	0555-72-1129
推薦市町村名	山梨県富士河口湖町